

研究室配属レポート

学籍番号：

私は臨床を志しているということもあり、期間前は研究室配属に対してあまり前向きではなかった。この研究室の実験の内容も難しそうだという印象が強く、ほとんど理解できていなかった。実験の行程は、2年次の生理・生化実習期間中に一度経験したものがあつたものの、当時は実験を速く進めることばかり考え、内容理解は二の次だった。だから、道具や名称や作業の一つ一つをやった記憶はあるのに、それがなぜ行われているのかということや、どういう原理なのかということとはほとんど知らなかった。

しかし、今回の実習期間中は、そのときとはまるで違う実験の進め方だった。実験を行う上での内容理解にかなりの時間をあて、理解できないことがあつたらその場で質問することができたので、やっている間に実験自体がおもしろいと感じることができたし、2年でやったことはこういうことだったのかという再発見もあり、とても充実したものだった。1週目の終わりには、研究室に行くのが楽しいと感じており、3週間という期間は、長いようで本当にあつという間だった。そのくらい自分にとっては有意義な時間であつたし、学んだことはたくさんあつた。

実験の内容において興味深いと感じたのは、PCR産物のライゲーションでないかと思う。2年のときにも似たようなことをやっていた分、こういうことなのかという驚きが自分の中では大きかった。インサートできたかとその向きを確かめたり、cDNAにあわせて自由に制限酵素を選び、ベクターを自分でデザインして使ったりというナノレベル以下での作業の複雑さは、現時点での理解よりも非常に奥の深い世界ではあるが、とてもおもしろいと感じた。また、そういった複雑な工程をいかに容易にできるかを目指して進んだ便利な技術はすごいと思つたし、一昔前からのその進歩には驚かされた。

最後に、先生に向けてですが、お忙しい中3週間の研究室配属期間中につきっきりで私たちをご指導してくださり、ありがとうございました。ご自分のお仕事もあつたでしょうから、実験の準備から資料の調達まで、私たちの面倒をおひとりで見るのは大変だつたと思います。実習内容は私たちにあつたペースで、疑問や難しい内容があれば、そのつど立ち止まってとても詳しく教えてくださり、この期間中に新たに理解できたこと、学んだことはたくさんあります。第一希望ではなかつたと言いましたが、今はこの研究室に来ることができて本当に良かったと思つています。実習期間中、授業では見られなかつた先生の一面、人柄を見ることができました。飲み会も本当に楽しかつたです。また機会があれば私たちもご一緒させてください。3週間本当にお世話になりました。